

令和 6年度予算見積調書

課室名: 高校教育指導課

担当名: 教育課程担当

内線: 7392

(単位: 千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
P26	ICTを活用した遠隔教育導入・展開実証事業		一般会計	教育費	教育総務費	教育連絡調整費	教育課程推進費	
事業期間	令和 6年度～ 令和 8年度	根拠法令	地方教育行政の組織及び運営に関する法律			針路 分野施策	SDGsゴール	4
1 事業概要		5 事業説明						
優れた授業実践力・指導力を持つ教員による複数校を対象とした遠隔授業の導入・展開や、教員の確保が困難な教科における遠隔授業の導入、専門家による遠隔授業の展開を進めることで、生徒の多様な科目選択の実現、生徒の多様な学びの機会の充実等を図る。		(1) 事業内容						
優れた授業実践力・指導力を持つ教員による遠隔授業の実証 2,605千円		ア 高等学校におけるICTを活用した遠隔教育の展開実証 イ 高大連携によるICTを活用した遠隔教育の展開実証						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)		(2) 授業計画						
		ア 教員の確保が困難な一部の教科において、当該教科の免許を持った教員がいない学校に、当該教科の免許を持つ教員がいる学校から遠隔授業を実施し、その効果を検証する。 また、単位認定が可能な形式で実施する。						
3 地方財政措置の状況 なし		イ 教員以外の専門家による特別講義として、様々な分野で遠隔授業を実施し、その効果を検証する。 また、単位修得可能な形で、専門家の特別講義として、大学等による、より多様かつ高度な遠隔授業を年間を通じて実施する。						
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1人=9,500千円		(3) 事業効果						
		ア 教員の確保が困難な一部の教科等の授業が受講可能になり、生徒の多様な科目選択が実現する。 専門科目の教員による授業の実施により、受信側の教員の資質が向上する。						
		イ 大学教授による高度な授業等が受講可能になり、生徒の多様な学びの機会が充実する。						
		【活動指標(アウトプット)】						
		・実証校4校における遠隔授業の実施 ・大学等の専門家による年間を通じた特別講義の実施(3大学)						
		【成果指標(アウトカム)】						
		・生徒の多様な科目選択の実現 ・遠隔授業を受けて学習意欲が向上した生徒の割合						
予算額		財源内訳					一般財源	前年との 対比
決定額	2,605						2,605	2,605
前年額	0						0	

事業内訳書

事業名	ICTを活用した遠隔教育導入・展開実証事業		
単位事業名	優れた授業実践力・指導力を持つ教員による遠隔授業の実証	予算額	2,605千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	2,605	2,605	
合計	2,605	2,605	

○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	250	250	対面授業用旅費 2校 遠隔授業配信出張旅費 35回×2単位
需用費	600	600	教員用教材費 4校
委託料	1,755	1,755	遠隔授業研究委託 3大学
合計	2,605	2,605	